

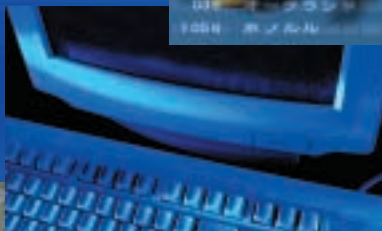
# 株式会社クレスコ

## 第 16 期 中間事業報告書

平成15年4月1日から平成15年9月30日まで



| 品名    | 単位 | 数量    | 単価    | 金額        |
|-------|----|-------|-------|-----------|
| 10000 | 個  | 1000  | 1000  | 1000000   |
| 10001 | 個  | 2000  | 2000  | 4000000   |
| 10002 | 個  | 3000  | 3000  | 9000000   |
| 10003 | 個  | 4000  | 4000  | 16000000  |
| 10004 | 個  | 5000  | 5000  | 25000000  |
| 10005 | 個  | 6000  | 6000  | 36000000  |
| 10006 | 個  | 7000  | 7000  | 49000000  |
| 10007 | 個  | 8000  | 8000  | 64000000  |
| 10008 | 個  | 9000  | 9000  | 81000000  |
| 10009 | 個  | 10000 | 10000 | 100000000 |



## Contents

- 株主のみなさまへ 1
- トップインタビュー 1
- クローズアップ 3
- 株主さまアンケートの結果ご報告 5
- 中間連結財務諸表 7
- 個別中間財務諸表 9
- 会社の概要 10
- 株式の状況 10



株主のみなさまには、日頃よりひとかたならぬご支援を賜りまして、まことにありがとうございます。

当中間期は前期に続く経営改革の仕上げの年として、様々な取り組みをしてまいりました。全社的なコスト削減、外注コストの圧縮

と内製化の促進、オフショア（海外）やローカル（地方）における開発体制作りに取り組み、競争力をより強化する施策を実行してまいりました。長引くデフレ経済のもと情報技術（IT）投資の回復は、まだまだ先に延びておりますが、需要の回復に備えた準備には怠りがないよう着実に進めております。

その結果当中間期の連結売上高は57億76百万円（前年同期比8.6%増）、同経常利益は2億50百万円（前年同期経常損失1億65百万円）、同中間純利益3億49百万円（前年同期比932.6%増）となりました。

今後とも株主のみなさまのご期待に添うよう、さらなる業績の拡大と企業価値の向上をめざしてまいります。株主のみなさまにおかれましては、一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

平成15年12月

株式会社クレスコ  
代表取締役会長兼社長

**岩崎 俊雄**

Q

この上半期、クレスコを取り巻く経営環境にどのような変化がありましたか。

A

景気回復の足取りは予想以上に重いようです。前期の後半はそれなりに良くなっていましたので、今上期に期待を込めていましたが、企業の情報技術（IT）投資という観点から見ると、依然として企業側の抑制状態が続き、案件決定までの時間の長期化、案件の縮小・凍結に加え、受注価格も厳しいものとなっています。

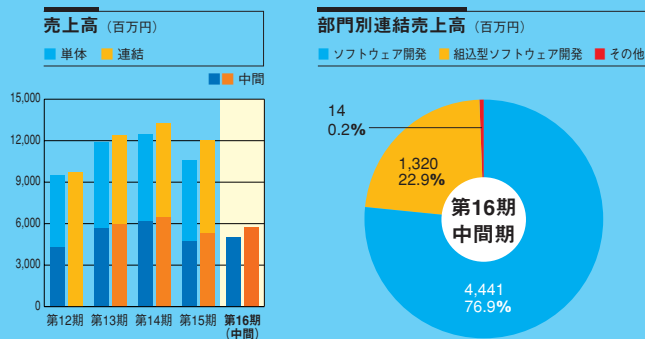
ソフト、ハードを含めた情報技術（IT）投資が本格化するには今しばらく時間がかかりそうです。

Q

上半期の業績について詳しくお聞かせください。

A

前年同期に比べて売上高は伸びましたが、期初の予想を下回りました。経常利益は前年同期がマイナスだっただけに、まずは順調な回復といえる



(注) 中間連結実績は第13期中間期より公表しています。

でしょう。全社的なコスト削減や外注コストの圧縮・内製化の成果もありました。ただ、当社グループがもつ作業容量から見ると、全社の稼働率はまだまだといえます。

ソフトウェア開発では、主力となる金融（銀行、生損保、証券）関連分野の回復が遅れ、この分野で大きく伸ばすまでには至りませんでした。ただし、インターネットバンキングなどWebシステムの構築が増え、売上では前年同期を上回りました。公共サービスでは、電力、通信、放送、航空運輸関連を中心に継続受注がありました。流通・その他分野では家電量販店、スーパーなどに加えてサービス業関連のシステム開発に取り組みました。企業の業務環境を統合管理するERPシステム開発業務については、子会社のクレスコ・イー・ソリューション(株)において開発体制の強化を図り、売上を伸ばしました。

組込型ソフトウェア開発では、携帯電話向けの通信分野の立ち上がりはずれ込んだため、DVDレコーダー向けなどデジタル家電にも取り組みました。カーオーディオを核とするカーエレクトロニクス分野は順調に売上を伸ばしました。

なお、当社には3つの子会社がありましたが、経営資源の選択と集中を図るため、酒造業向けの生産管理・販売管理

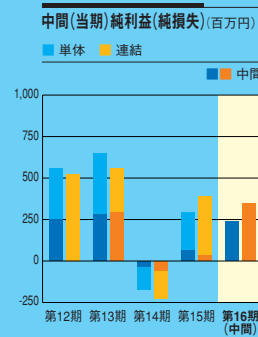
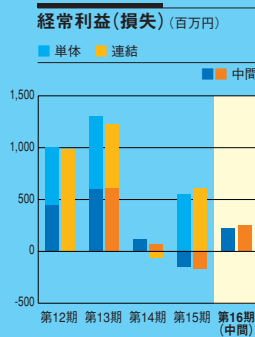
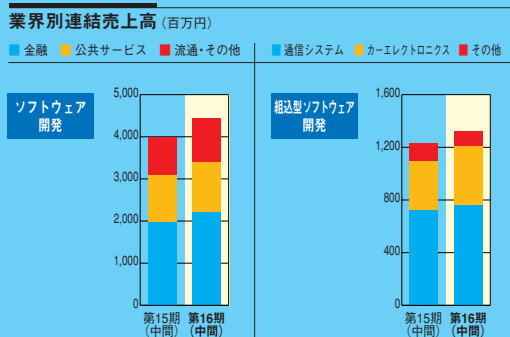
のパッケージソフトウェアを開発・販売していましたが、(株)ハートコンピューターにつきましては、平成15年7月をもって全株式を譲渡し、連結子会社から除外いたしました。



代表取締役会長兼社長 岩崎 俊雄

## Q 通期の見通しと、それに向けた取り組みは いかがでしょうか。

A 下期は企業の予算執行の関係から、上期よりも仕事が増える傾向にあります。ただ、現状の動きから予想すると、経営環境は上期の厳しさが継続しているようです。長引く不況の影響から、仕事を発注する企業側も慎重になっており、ぎりぎりまで決定を遅らせるケースが少なくありません。営業統括部を中心に営業要員を倍増し、新規案件と既存顧客の継続案件の受注を2本柱に、“攻めの営業”を強化いたします。



前号で行ったアンケートでは、「クレスコが何をやっているのか、もっと具体的に教えて欲しい」というお声をたくさんいただきました。本号では、その中から質問の多かった2つの事業部について取り上げました。

●クレスコはこんなビジネスを展開しています。

# テクノロジー ソリューション事業部

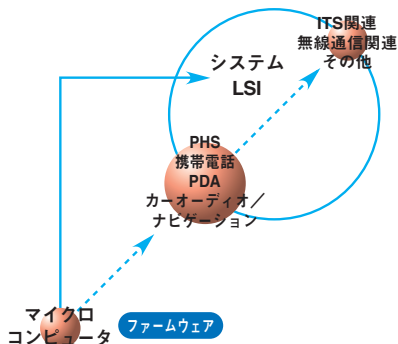
自動車用音響装置と移動体通信機器を柱に、  
機器組み込み式のマイコンシステムを開発。

Q1

主な業務内容を  
お聞かせください。

大きく分けて2つの柱からなります。1つは自動車に組み込まれるカーオーディオのソフトウェア開発。AM・FMラジオの自動選局のほか、最近ではCD・MDの再生装置が組み込まれています。それらを円滑に制御する小型のマイコン装置の開発です。2つめは携帯電話やPHSなどのソフトウェア

開発。小型化が進んでいる上に、メールやカメラなどの新機能が追加されており、小型化と多機能化を両立させるためにもソフトウェアが重要なものとなっています。



Q2

これまでに手がけたシステムには  
どのようなものがありますか。

かつては、工場のプラントなど大型設備を制御するソフトウェア開発、鉄道やビル管理用コンピュータの頭脳部分や特定用途を目的として設計・製造される集積回路の設計なども行ってきました。そうした大型設備の情報技術（IT）投資が一巡したこともあります。現在の主業務となるカーオーディオや移動体通信は、機器自体の複雑化が進んでいることもあり、それらの機器と機能に熟知した技術者の参加が強く求められています。また、産業としても元気のある分野といえます。

Q3

今後の業務に対する  
抱負がありましたら。

現在の業務の多くは、決められた納期までに決められた品質のソフトウェア開発を行うというものがほとんどです。最初にモノありきではなく、サービスの仕組みや仕掛けから機器の新たな機能をご提案し、お客さまと対等かつ一体となって、社会から喜ばれる開発ができればと考えています。

### 用語解説

#### ● マイコン：

マイクロコンピュータの略。機器組み込み型の超小型システムで、幅広い働きを行います。

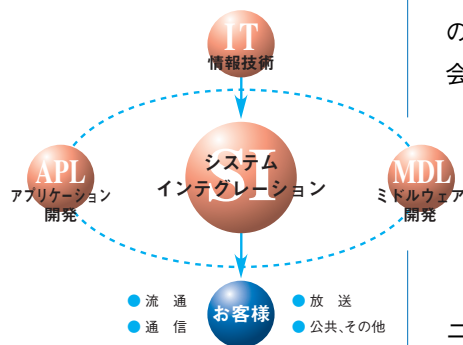
# インダストリー ソリューション事業部

産業の進化を支援する  
幅広いビジネス支援システムを構築。

## Q1

主な業務内容をお聞かせください。

流通、旅行、運輸、サービス、通信、放送、公共など7つの産業向けに、様々なビジネス用アプリケーションを開発・提供しています。まず流通業では、家電量販店、家具販売店、スーパーなどの本部システムをはじめ、急成長するカジュアル衣料店向けに、店舗ごとの販売ピークと従業員配置の一体化を図る「販売員計画システム」を開発しました。また、サービス業では人材派遣会社向けに、派遣依頼とスタッフの応募を結びつける「マッチングシステム」を開発しました。



## Q2

手がけたシステムには他にどのようなものがありますか。

みなさまになじみの深いものとしては、新幹線の座席予約や旅行代理店の航空券予約があります。また、そこから派生して、コンビニでの航空券予約システムも手がけました。今年は、イラク戦争やSARSの影響で、旅行業からの新規受注は残念ながら縮小済みです。運輸業では、おなじみの大手宅送便の「貨物追跡システム」を開発しました。珍しいところでは、放送局の「番組自動送出システム」があります。番組をスケジュール（新聞のテレビ欄）に従って放送できるようにするものです。その他、視聴者への対応システムや著作権の管理システムも手がけています。公共的なものには、電力会社の火力発電所向け「燃料管理システム」もあります。

## Q3

今後の業務に対する抱負がありましたら。

生活に直接関連する分野が中心なだけに、顧客サイドのニーズをしっかりとらみ、対応することが大切です。多くの業務分野での経験を生かした提案は、お客さまの事業拡大につながるだけでなく、当社の利益にも結びついています。

### 用語解説

#### ● アプリケーション：

目的の業務を行うために開発されるソフトウェアの総称。ここでは、様々な産業のビジネス支援システムを指します。

## 株主さまアンケートの結果ご報告

前回事業報告書において実施させていただきました  
株主さまアンケートにつきまして、平成15年8月末にて279通のご回答を  
お寄せいただきました。まことにありがとうございました。

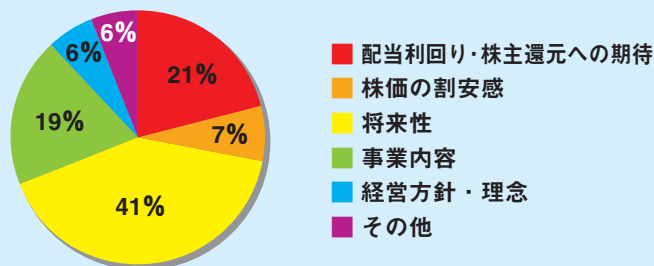
集計結果では、当社株式のご購入理由として、「将来性」を重視される方が最も多く、回答者の4割以上の方に選択していただきました。次いで「配当」、「事業内容」も高得票を得たことについては、ありがたいご評価と受け止めております。事業内容へのご関心については「携帯電話」、「ミドルウェア」との回答が多く、当社の特徴に高い関心が寄せられています。また、一部の方には最近取り組んでおります「ワイヤレスソリューション」へのご興味もいただ

いています。さらに、当社からの情報としては回答者の3割近くの方が「株主還元」、「将来展望」に関する情報の提供をご希望されております。

今回のアンケートにおいて、株主のみなさまからは厳しいご意見や励ましのお言葉など生の声を多く賜りました。ここに全てをご紹介することはできませんでしたが、重ねて御礼申し上げます。今後とも本誌やホームページなどを通じて、情報の充実に努めてまいります。

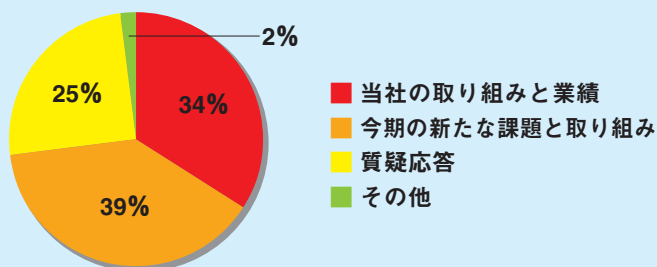
### Q1

当社の株式をご購入された理由は  
何でしょうか？



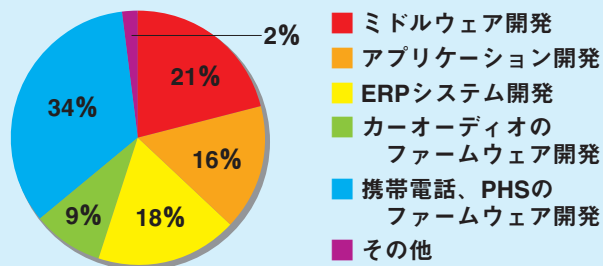
### Q2

今回の事業報告書で特にご興味を  
もたれたのは何でしょうか？



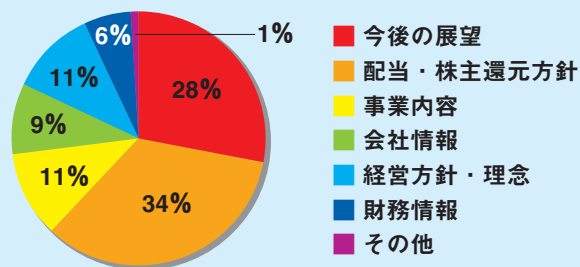
### Q3

当社の事業内容について、  
特にご関心のある分野は何でしょうか？



### Q4

当社について、より充実してほしい  
情報は何でしょうか？



●お寄せいただいたご質問の中から、特に多かった項目についてお答えいたします。

Q1

今後の成長に向けた道筋を  
どのように描いておられますか。

A

現在の業績については、満足できるものではありません。市場環境の好転を待つだけでなく、景況が好転したときに備えて、社内体制の整備に努めています。つまり、より優れたソフトウェアの開発ができるよう、品質管理体制を強化し、若手を中心とした人材の教育にも力を注いでいます。

お蔭様で引き合い案件や見積り案件は増えつつあり、この準備が次の飛躍につながるものと確信しています。

新しい動きとしては、例えば携帯電話があります。電子マネーの機能を付加して財布代わりに使う構想や、TV画像の配信とからめて新たな価値を付加する構想です。当社がお役に立てる場面も増えると考えています。企業の情報技術(IT)投資は、更新需要も含め、潜在需要は確実に高まっています。景気の動きによっては、一気に拡大する可能性もあります。

Q2

配当や株主還元については  
どのように考えていますか。

A

業績をにらみつつ、株式分割や手厚い配当に努めていきたいと考えています。当期の中間配当金については、当初予定より2円50銭増配し、1株当たり7円50銭としました。期末についても同額を予定しています。

企業運営を円滑に進めるには、株主さまのご理解とご支援が不可欠です。当社は株主さまにご参加いただくため、

株主総会も集中日を避けて、1週間前に開催しています。なお、機動的な資本政策を遂行するため、第15回定時株主総会(平成15年6月20日開催)においてご承認いただきました自己株式取得(普通株式15万株、取得価額総額1億50百万円)の一部取得を行っています。

Q3

IR活動の基本スタンスを  
お聞かせください。

A

証券アナリストやファンドマネジャーなど外部からの取材には、誠意をもって対応しています。また、スモールミーティングについても定期的に開催しています。

情報開示については、先頃、ホームページをリニューアルしましたので、そちらもご覧になっていただければと思います。個人投資家向けには、事業報告書も大切なツールと考え、投資家のみならず分かりやすい情報開示を心がけています。

ホームページを  
ご活用ください。



このたびホームページをリニューアルしました。情報の充実を図り、見やすく利用しやすいWebサイトをめざし、デザインやレイアウトも工夫しています。

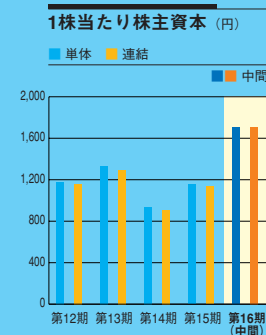
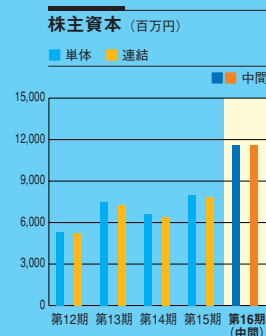
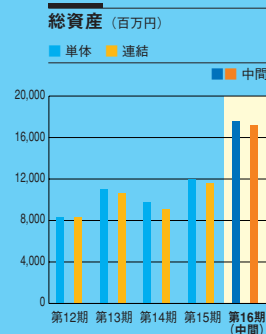
<http://www.cresco.co.jp>

# 中間連結財務諸表

## 中間連結貸借対照表

(単位：百万円未満切捨)

| 科 目           | 当中間期         | 前中間期         | 科 目             | 当中間期         | 前中間期         |
|---------------|--------------|--------------|-----------------|--------------|--------------|
|               | 平成15年9月30日現在 | 平成14年9月30日現在 |                 | 平成15年9月30日現在 | 平成14年9月30日現在 |
| <b>(資産の部)</b> |              |              | <b>(負債の部)</b>   |              |              |
| 流動資産          | 5,405        | 4,822        | 流動負債            | 1,814        | 1,864        |
| 現金及び預金        | 2,131        | 1,395        | 買掛金             | 629          | 744          |
| 受取手形及び売掛金     | 2,655        | 2,577        | 短期借入金           | 130          | 300          |
| 有価証券          | 40           | 180          | 未払金             | 108          | 148          |
| たな卸資産         | 164          | 324          | 未払法人税等          | 178          | 7            |
| 未収入金          | 5            | 11           | 未払事業所税          | 6            | 6            |
| 前払費用          | 148          | 129          | 未払消費税等          | 85           | 60           |
| 繰延税金資産        | 237          | 197          | 賞与引当金           | 499          | 474          |
| その他           | 32           | 10           | その他             | 175          | 122          |
| 貸倒引当金         | △11          | △4           | 固定負債            | 3,715        | 1,068        |
| 固定資産          | 11,766       | 5,550        | 社 債             | 70           | —            |
| 有形固定資産        | 1,788        | 1,864        | 退職給付引当金         | 286          | 213          |
| 建 物           | 671          | 687          | 役員退職慰労引当金       | 141          | 131          |
| 工具器具備品        | 161          | 221          | 預り保証金           | 184          | 192          |
| 土 地           | 955          | 955          | 繰延税金負債          | 3,033        | 530          |
| 無形固定資産        | 356          | 330          | 負債合計            | 5,529        | 2,932        |
| 投資その他の資産      | 9,620        | 3,355        | <b>(少数株主持分)</b> |              |              |
| 投資有価証券        | 8,870        | 2,593        | 少数株主持分          | 27           | 21           |
| 敷金保証金         | 427          | 462          | <b>(資本の部)</b>   |              |              |
| 会員権           | 79           | 110          | 資本金             | 2,514        | 2,514        |
| 保険積立金         | 174          | 152          | 資本剰余金           | 2,998        | 2,998        |
| 繰延税金資産        | 13           | 54           | 利益剰余金           | 2,160        | 1,543        |
| その他           | 100          | 27           | その他有価証券評価差額金    | 4,648        | 867          |
| 貸倒引当金         | △45          | △45          | 自己株式            | △708         | △504         |
| 資産合計          | 17,171       | 10,373       | 資本合計            | 11,614       | 7,419        |
|               |              |              | 負債、少数株主持分及び資本合計 | 17,171       | 10,373       |



**流動資産** 5億83百万円増加しておりますが、これは主にたな卸資産が1億60百万円減少した一方、現金及び預金が7億36百万円増加したことによるものです。

**固定資産** 62億15百万円増加しておりますが、これは主に投資有価証券の増加62億77百万円によるものです。この投資有価証券の増加につきましては、当社が保有しております㈱ニクス（東京証券取引所市場第1部）の時価評価によるもので、当該株式の時価評価増加額は62億36百万円であります。

**固定負債** 26億47百万円増加しておりますが、これは主に時価のある「その他有価証券」の時価評価に伴う繰延税金負債の増加額25億2百万円によるものです。

**資本** 資本合計が41億94百万円増加しております。時価のある「その他有価証券」の時価評価したことにより「その他有価証券評価差額金」が37億81百万円増加し、純利益計上による利益剰余金も6億17百万円増加しておりますが、自己株式が2億3百万円増加いたしました。



## 中間連結損益計算書

(単位：百万円未満切捨)

| 科目            | 当中間期                        | 前中間期                        |
|---------------|-----------------------------|-----------------------------|
|               | 平成15年4月1日から<br>平成15年9月30日まで | 平成14年4月1日から<br>平成14年9月30日まで |
| 売上高           | 5,776                       | 5,319                       |
| 売上原価          | 5,041                       | 5,002                       |
| 売上総利益         | 734                         | 316                         |
| 販売費及び一般管理費    | 570                         | 553                         |
| 営業利益又は営業損失(△) | 164                         | △236                        |
| 営業外収益         | 135                         | 127                         |
| 受取利息          | 0                           | 1                           |
| 受取配当金         | 22                          | 15                          |
| 不動産賃貸収入       | 107                         | 106                         |
| その他           | 4                           | 3                           |
| 営業外費用         | 49                          | 57                          |
| 支払利息          | 1                           | 1                           |
| 不動産賃貸費用       | 48                          | 48                          |
| その他           | 0                           | 6                           |
| 経常利益又は経常損失(△) | 250                         | △165                        |
| 特別利益          | 326                         | 361                         |
| 投資有価証券売却益     | 326                         | 360                         |
| その他           | 0                           | 1                           |
| 特別損失          | 89                          | 103                         |
| 固定資産除却損       | 8                           | 20                          |
| 投資有価証券評価損     | 9                           | 56                          |
| 関係会社株式売却損     | 48                          | —                           |
| その他           | 23                          | 27                          |
| 税金等調整前中間純利益   | 487                         | 92                          |
| 法人税、住民税及び事業税  | 181                         | 4                           |
| 法人税等調整額       | △47                         | 52                          |
| 少数株主利益        | 4                           | 1                           |
| 中間純利益         | 349                         | 33                          |

## 中間連結剰余金計算書

(単位：百万円未満切捨)

| 科目               | 当中間期                        | 前中間期                        |
|------------------|-----------------------------|-----------------------------|
|                  | 平成15年4月1日から<br>平成15年9月30日まで | 平成14年4月1日から<br>平成14年9月30日まで |
| <b>(資本剰余金の部)</b> |                             |                             |
| 資本剰余金期首残高        | 2,998                       | 2,998                       |
| 資本剰余金中間期末残高      | 2,998                       | 2,998                       |
| <b>(利益剰余金の部)</b> |                             |                             |
| 利益剰余金期首残高        | 1,861                       | 1,510                       |
| 利益剰余金増加高         | 349                         | 33                          |
| 中間純利益            | 349                         | 33                          |
| 利益剰余金減少高         | 50                          | 0                           |
| 配当金              | 34                          | —                           |
| 役員賞与             | 15                          | 0                           |
| 自己株式処分差損         | 0                           | —                           |
| 利益剰余金中間期末残高      | 2,160                       | 1,543                       |

## 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円未満切捨)

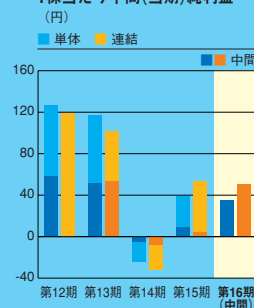
| 科目                   | 当中間期                        | 前中間期                        |
|----------------------|-----------------------------|-----------------------------|
|                      | 平成15年4月1日から<br>平成15年9月30日まで | 平成14年4月1日から<br>平成14年9月30日まで |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー     | 587                         | 146                         |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー     | 142                         | 406                         |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー     | △167                        | △4                          |
| 現金及び現金同等物の増加額        | 563                         | 548                         |
| 現金及び現金同等物の期首残高       | 1,592                       | 816                         |
| 連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額 | △24                         | —                           |
| 現金及び現金同等物の中間期末残高     | 2,131                       | 1,365                       |

### POINT

**売上高** 前中間期は初の減収となりましたが、当中間期は前年同期比108.6%となりました。  
**営業利益** 前中間期初めての損失計上から、当中間期は1億64百万円の利益に転じました。

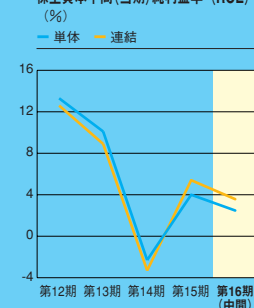
**経常利益** 前中間期初めての損失計上から、当中間期は営業利益が黒字に転じたことにより2億50百万円の利益となりました。  
**中間純利益** 前中間期は33百万円の中間純利益でしたが、当中間期は経常利益計上及び投資有価証券売却益3億26百万円の計上により、3億49百万円の中間純利益となりました。

### 1株当たり中間(当期)純利益

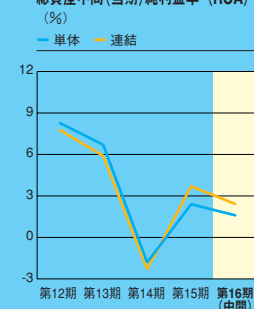


(注) 中間連結実績は第13期中間より公表しています。

### 株主資本中間(当期)純利益率 (ROE)



### 総資産中間(当期)純利益率 (ROA)



# 個別中間財務諸表

## 個別中間貸借対照表

(単位：百万円未満切捨)

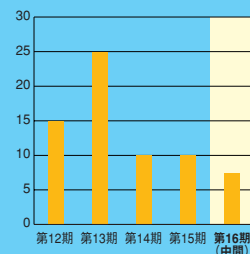
| 科 目            | 当中間期          | 前中間期          |
|----------------|---------------|---------------|
|                | 平成15年9月30日現在  | 平成14年9月30日現在  |
| <b>(資産の部)</b>  |               |               |
| 流動資産           | 5,749         | 5,594         |
| 固定資産           | 11,889        | 5,469         |
| 有形固定資産         | 1,776         | 1,853         |
| 無形固定資産         | 325           | 135           |
| 投資その他の資産       | 9,787         | 3,481         |
| <b>資産合計</b>    | <b>17,638</b> | <b>11,064</b> |
| <b>(負債の部)</b>  |               |               |
| 流動負債           | 1,915         | 1,696         |
| 固定負債           | 4,100         | 1,696         |
| <b>負債合計</b>    | <b>6,016</b>  | <b>3,392</b>  |
| <b>(資本の部)</b>  |               |               |
| 資本金            | 2,514         | 2,514         |
| 資本剰余金          | 2,998         | 2,998         |
| 資本準備金          | 2,998         | 2,998         |
| 利益剰余金          | 2,168         | 1,783         |
| 利益準備金          | 78            | 78            |
| 任意積立金          | 1,812         | 1,603         |
| 中間未処分利益        | 278           | 101           |
| 其他有価証券評価差額金    | 4,648         | 878           |
| 自己株式           | △708          | △504          |
| <b>資本合計</b>    | <b>11,622</b> | <b>7,671</b>  |
| <b>負債・資本合計</b> | <b>17,638</b> | <b>11,064</b> |

## 個別中間損益計算書

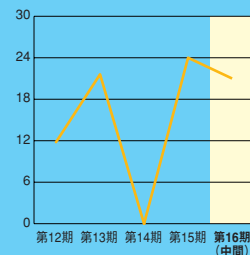
(単位：百万円未満切捨)

| 科 目            | 当中間期                        | 前中間期                        |
|----------------|-----------------------------|-----------------------------|
|                | 平成15年4月1日から<br>平成15年9月30日まで | 平成14年4月1日から<br>平成14年9月30日まで |
| 売上高            | 5,025                       | 4,737                       |
| 売上原価           | 4,418                       | 4,513                       |
| 売上総利益          | 606                         | 223                         |
| 販売費及び一般管理費     | 465                         | 445                         |
| 営業利益又は営業損失 (△) | 140                         | △222                        |
| 営業外収益          | 142                         | 135                         |
| 営業外費用          | 56                          | 60                          |
| 経常利益又は経常損失 (△) | 226                         | △147                        |
| 特別利益           | 326                         | 361                         |
| 特別損失           | 132                         | 101                         |
| 税引前中間純利益       | 421                         | 112                         |
| 法人税、住民税及び事業税   | 162                         | 1                           |
| 法人税等調整額        | 17                          | 48                          |
| 中間純利益          | 241                         | 62                          |
| 前期繰越利益         | 36                          | 38                          |
| 中間未処分利益        | 278                         | 101                         |

1株当たり中間(年間)配当金 (円)



配当性向 (%)



## 会社の概要 (平成15年9月30日現在)

|       |  |
|-------|--|
| 商号    | 株式会社クレスコ   |
| 設立    | 昭和63年4月1日  |
| 資本金   | 2,514,875千円  |
| 本社所在地 | 〒108-0073東京都港区三田三丁目1番12号<br>(スリーA三田ビル)<br>(03) 5445-5011   |
| 事業所   | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 田町センター<br/>〒108-0014東京都港区芝五丁目31番19号<br/>(田町全日空ビル)<br/>(03) 5445-5017</li> <li>● 芝センター<br/>〒105-0014東京都港区芝二丁目31番19号<br/>(バンザイビル)<br/>(03) 5445-5057</li> <li>● 横浜センター<br/>〒222-0033神奈川県横浜市港北区新横浜二丁目11番5号 (川浅ビル)<br/>(045) 474-0981</li> <li>● 北海道開発センター<br/>〒060-0042北海道札幌市中央区大通西五丁目1番地1 (札幌ロプロビル)<br/>(011) 200-5550</li> </ul> |

**事業内容** メインフレームシステム開発、  
クライアント・サーバーシステム開発、  
ファームウェア開発、ハードウェア設計、  
システム機器開発

**従業員数** 669名

|    |            |      |
|----|------------|------|
| 役員 | 代表取締役会長兼社長 | 岩崎俊雄 |
|    | 取締役副会長     | 浦崎雅博 |
|    | 専務取締役      | 谷口義恵 |
|    | 常務取締役      | 酒井一夫 |
|    | 取締役        | 波多腰茂 |
|    | 取締役        | 後藤良男 |
|    | 取締役        | 熊澤修一 |
|    | 取締役        | 丹羽蔵王 |
|    | 常勤監査役      | 中村舟兵 |
|    | 監査役        | 臼井義真 |
|    | 監査役        | 井手正介 |
|    | 監査役        | 小林樹明 |

(注) 1. 監査役秋葉二郎は平成15年6月20日付で任期満了に伴い退任いたしました。  
2. 常勤監査役中村舟兵、監査役臼井義真、監査役井手正介及び監査役小林樹明は「株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律」第18条第1項に定める社外監査役であります。

**連結子会社** クレスコ・イー・ソリューション株式会社  
株式会社ウェイン

## 株式の状況 (平成15年9月30日現在)

### 株式の状況

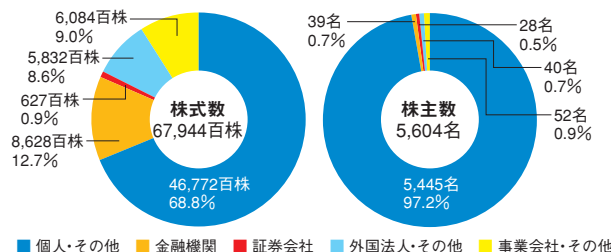
|              |             |
|--------------|-------------|
| 会社が発行する株式の総数 | 17,000,000株 |
| 発行済株式の総数     | 7,308,054株  |
| 株主数          | 5,605名      |

### 大株主

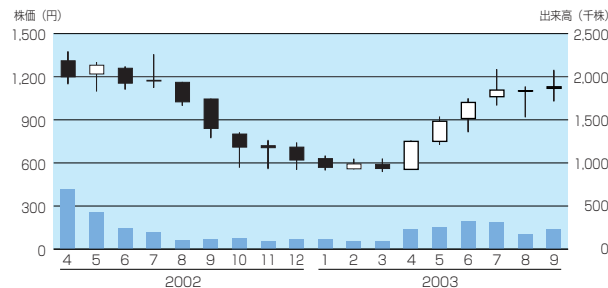
| 株主名   | 持株数<br>(百株) | 議決権比率<br>(%) |
|---|-------------|--------------|
| 岩崎俊雄  | 10,286      | 15.5         |
| 浦崎雅博  | 7,376       | 11.1         |
| 有限会社シュンコーポレーション                                   | 5,850       | 8.8          |
| クレスコ従業員持株会  | 2,809       | 4.2          |
| モルガンスタンレーアンドカンパニーインターナショナルリミテッド                   | 2,546       | 3.8          |
| 田島健司  | 2,204       | 3.3          |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社信託口                             | 1,737       | 2.6          |
| 日本トラスティサービス信託銀行株式会社信託口                            | 1,187       | 1.8          |
| バンクオブアメリカダガンジースペシャルアカウント<br>エクスクルーシブベネフィットクライアランス | 942         | 1.4          |
| ザチェスマンハッタンバンクエヌエイロンドン                             | 616         | 0.9          |

(注) 当社の自己株式 (5,135百株) は議決権がないため、上記の表には含めておりません。

### 所有者別株式分布状況 (注) 自社保有分を除く



### 株価及び出来高の推移



## ■ 株主メモ

|             |   |
|-------------|---|
| 決算期         | 3月31日   |
| 定時株主総会      | 6月下旬  |
| 利益配当金支払基準日  | 3月31日   |
| 中間配当金支払基準日  | 9月30日   |
| 同総会議決権行使基準日 | 3月31日   |
|             | その他必要のあるときは、あらかじめ公告します。   |
| 公告掲載新聞      | 日本経済新聞<br>決算公告に代えて、貸借対照表及び損益計算書の開示は、当社ホームページ ( <a href="http://www.cresco.co.jp">http://www.cresco.co.jp</a> ) に掲載しております。 |
| 名義書換代理人     | 三菱信託銀行株式会社  |
| 同事務取扱場所     | 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号<br>三菱信託銀行株式会社 証券代行部   |
| 同取次所        | 三菱信託銀行 全国各支店  |
| 郵便物送付先      | 〒171-8508 東京都豊島区西池袋一丁目7番7号  |
| 電話お問合せ先     | 三菱信託銀行株式会社 証券代行部<br>電話 0120-707-696 (フリーダイヤル)   |

### ■ 単元未満株式の買取請求及び買増請求

単元未満株式の買取請求及び買増請求は、上記名義書換事務取扱場所及び取次所にて受付けております。

ただし、株券保管振替制度をご利用されている場合は、お取引の証券会社にお申し出ください。

また、買増請求は毎年3月31日の12営業日前から3月31日まで、及び9月30日の12営業日前から9月30日までお取扱いができませんので、ご注意ください。

### ■ お知らせ

住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取請求、単元未満株式買増請求に必要な各用紙及び株式の相続手続依頼書のご請求は、名義書換代理人のフリーダイヤル（自動音声応答サービス）0120-86-4490でも24時間承っておりますので、ご利用ください。